

月刊

社協だより

平成30年
5月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

年度初めに当たって

狩留家地区社協の理事総会が四月二十八日に開催されました。狩留家地区社協は今年度も「ぴんぴんコロコロ元気な狩留家」は「町おこしを通して創ります」をスローガンとして掲げ、次の五項目を基本方針として活動します。①何時も安心・安全な町を作ります。②いくつになっても元気で過ごせる町を作ります。③子育て支援で安心して仕事が続けられる町を作ります。④賑わいのある町を作ります。⑤情報発信力強化に取組みます。

また、今年度の重点取組として、①狩留家内で生活必需品等が調達できるように「拠点づくり」を推進します。②若者が狩留家に訪れ、定住したくなる様に「花と緑と香りの漂う狩留家」「おとぎの国・狩留家」を作ります。③高齢者見守り、児童の見守り等で若者が安心して働ける町を作ります。などを重点的に取り組んでいきます。



五月八日、狩留家集会所に於いて健康ウォーキング教室が開催され、健康運動指導士 玉川真弓先生から正しい歩き方、ウォーキングの効果、靴

健康ウォーキング教室に参加して

今後超少子高齢社会を迎えるに当たり、ご近所同士の緩やかで自然な見守り合いが大切になってきます。また、困り事が有りましたらご近所同士で助け合うと共に、お近くの社協理事に気軽に声を掛けてください。

狩留家地区社協は三十名の理事で構成されています。三十三名の理事で協議して住みやすい狩留家作りに努めます。(会長記)

の選び方について色々とお話を伺いました。広島県の健康寿命は、女性が全国で四十六位と大変悪い数字になっています。(男性は、二十七分位です)

高齢化社会に向けて、なるべく人のお世話にならないように、元気なうちに外に出て、運動することが大切と感じました。運動の中には、有酸素運動、無酸素運動があり、その中でもウォーキングは、有酸素運動としてとても効果があるそうです。まずは、背中を起こして

役員退任のあいさつ

今年度一名の方が理事を退任されました。長い間ご苦勞様でした。退任された後も狩留家地区福祉活動にご指導とご協力をお願いいたします。退任された方の声を紹介します。

高本 誠

子ども育成会

一年間、ありがとうございました。社会福祉協議会の理事として、地域の皆様と活動できたことが、私の財産としてプラスになったと思います。

新任役員の紹介

- 子ども育成会代表 岡崎 美由紀
- 狩小川小学校PTA代表 太田 雅代
- 母子寡婦福祉会会長 川崎 知子

四月資源ごみ売上 一萬二千円